

第2回森岡地区拠点施設基本構想・基本計画作業部会 意見対応表

No.	意見内容	対応
1	◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭： P.2 基本方針①学びの拠点について、個別化教育というよりも、個性化教育としてほしい。その他記載部分についても、個性化教育で統一いただきたい。	“個性化”教育として、概要版を修正した。
2	◇土木管理課 維持修繕係 足立： P.1 東浦町の特性及び森岡地区の特性について、マスタープラン等の図面が掲載されているが、防災面等も考えた方が良く考える。数年前に立地適正化計画を策定しているので、掲載してもらった方が良く思う。 ◇事務局 中村： 概要版の紙面の関係上、図としての掲載はないが、立地適正化計画の居住誘導区域にあたることを記載している。 ◇土木管理課 維持修繕係 足立： 状況について理解した。問題ない。	—
3	◇教育課 学校教育係 稲熊： P.4 導入機能について、児童館は保育機能に含まれているが、多世代交流の役割を持っている。保育機能だけと誤解を生まないようにしたい。 ◇教育課 学校教育係 稲熊： 児童館はどんな方も立ち寄れる空間としての役割を持っているため、保育機能のみとはしない方が良く考える。	導入機能の②保育機能部分の文言を「乳幼児の保育機能」「児童の保育機能」へ修正し、児童館における交流機能については、⑤交流連携機能に含まれるものとして整理した。
4	◇教育課 教育企画係 竹内： P.4 新規アクティビティについて、これですべてなのかという疑問がある。すべてを洗い出すことが難しいのであれば、もう少し柔らかく書けると良いのではないかな。 導入機能についても、複合化した際の余白が魅力となると考えている。施設だけではなく、外構やオープンスペースについても検討いただきたい。	整備計画検討会で挙げられたアクティビティについて、表現を修正した。
5	◇子育て支援課 保育係 山本： 多世代交流ということを考えると交通難民の方も訪れる施設となる。山間にあるという土地柄を踏まえ、バス停の配置など配慮してあげられると良い。	施設整備と合わせて検討すべき事項として、今後の留意事項等で整理予定である。
6	◇教育課 教育企画係 竹内： P.4 導入機能①教育機能について、「オープンスクールを踏まえた」というより、現時点では「個性化教育の推進」という部分が前提条件となると考える。	導入機能の①教育機能内の文言を「個性化教育を推進する小学校授業機能」と修正した。
7	◇教育課 児童館 向井： P.4 導入機能について、アフタースクールと児童クラブ機能は、どちらも児童を預かっているため、今後統合するという動きもあるが、合体して考えていくのかそれぞれ別機能として考えていくのか整理が必要。 ◇教育課 教育企画係 竹内： アフタースクールと児童クラブ、児童館は機能上性質が違ふ。現状は、空間的な制限があることから、児童館クラブ及び児童館機能は児童館で実施しているという側面がある。 ◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭：	導入機能の①教育機能内の文言を「放課後児童の教育機能」と修正した。

No.	意見内容	対応
	預かる時間の違いも関係する。	
8	◇ふくし課 社会高齢係 森： P.4 既存機能の整理について、老人憩の家における、サロン活動とゆうゆうクラブの囲碁将棋等の活動は別なので、分けて記載いただきたい。	森岡老人憩の家の既存機能について、サロン活動とゆうゆうクラブの活動を区別されるよう修正した。
9	◇教育課 児童館 向井： P.4 導入機能⑥支援機能について、校内支援は校内教育支援と変更、スクールカウンセラーには「学習指導員」を加筆いただきたい。 また、複合拠点に求められる新規アクティビティについて、入学式・卒業式と並べて記載いただきたい。	整備計画検討会における新規アクティビティに「卒業式」を追加、導入機能の⑥支援機能内の文言を「校内教育支援センター」「学習指導員」に追加修正した。
10	◇教育課 教育企画係 竹内： わくわくするようなイメージ図があると良い。	基本計画の施設計画の部分を検討した後、作成予定である。
11	◇都市整備課 公園緑地係 小川： P.4 複合拠点に求められる新たな機能・アクティビティについて、それぞれのアクティビティをどんな団体が推進していくのかを検討する必要がある。	記載しているアクティビティは意見として挙げたものであり、全て実施することが決定したものではない。管理・運営計画については、今後、基本計画内で検討予定である。
12	◇ふくし課 地域共生社会推進係 若狭： P.4 導入機能⑥支援機能の部分で、福祉の観点から、コミュニティソーシャルワーカーについても記載いただけると良いと思う。	導入機能の⑥支援機能内に「(コミュニティソーシャルワーカーによる相談支援等)」を追加した。
13	◇ふくし課 社会高齢係 森： 概要版の中で数回記載のある「避難所」と「避難場所」は意味が違うので使い分けるか、並列して記載いただけると良いと思う。	概要版内の避難所・避難場所関係の文言について、精査した。
14	◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭： 資料 03 管理のスペースについて、小学校の職員室は守秘事項が多くセキュリティも必要なので、後々分ける必要があることがわかるようにすべきと考える。	配置計画検討や、その後の設計条件の整理において留意する。
15	◇教育課 教育企画係 竹内： 資料 03 小学校のスペースについて、前段では「総合教室型/特別教室型/教科教室型等の最適なあり方に留意が必要」と挙げられおり、現状は方向性が決まっていない中で普通教室と記載して良いのか。教室形式はフレキシブルな使い方ができると良い。一般的には普通教室となると考えるが。	小学校専有部分のあり方について、学校教育課等と検討する。
16	◇教育課 教育企画係 竹内： 集いのスペースはもっと多用途に使えると思うので、ダイアグラムの色塗りの範囲を広げても良いと思う。	集いのスペースをより多用途に活用できるよう、表現を検討する。
17	◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭： 資料 04 小学校規模検討について、どのケースであっても、多目的室がすごく小さく感じる。この面積では個性化教育の推進には支障をきたす。面積削減の必要性も理解しているが、複合拠点の方針として個性化教育を掲げるのであれば、もう少し面積が必要であると感じる。	意見を踏まえ、関係課と小学校規模について検討する。
18	◇教育課 教育企画係 竹内： 現在の森岡の小学校の面積はどう算出しているのか。緒川小学校と森岡小学校がほぼ同一面積というのは違和感があり、再配置計画などのどの数値を集計しているか。また、普通教室の面積も標準であると思うが、今後の動向を踏まえると足りるかどうか不安を感じている。また、管理部 700 ㎡とされており、現況	数値について、学校台帳を基に改めて確認し、面積検討を行う。

No.	意見内容	対応
	に則った数値が設定されていると思うが、現在の森岡小学校職員室は極端に狭い状況であり、複合拠点整備にあたっては改善が必要な状況となっている。 ◇教育課 教育企画係 竹内： 体育館を省いた面積としても、森岡小学校と緒川小学校では規模が大きく違うイメージを持っているため、改めて数値を確認してほしい。	
19	◇教育課 教育企画係 竹内： また、資料 05 について、屋外空間も重要な要素になるため、中庭やグラウンド等の要素も含まれているとわかりやすいと感じた。 ◇教育課 教育企画係 竹内： 複合施設となると、各施設を繋ぐ屋外スペースが重要となるため、良い方向にしていきたいと感じる。	各スペースの関係性や必要面積について、屋外スペースも踏まえ検討する。
20	◇教育課 森岡小学校 伊藤： 先ほどの発言のとおり、現在の森岡小学校の職員室は狭い。 また、教室の数について、19 学級となっているが、特別支援の学級は増えている状況である。森岡小学校はあいち小児保健医療総合センターに近く、センター隣接の県立大府特別支援学校から転入するケースも多いため、8m×8m の普通教室サイズは不要だが、ある程度の空間を用意してあげたい。 また、最近では、着替えへの配慮も必要となっており、諸室設定の際に併せて検討する必要がある。 また、給湯室や職員トイレについて、現在は教職員の休憩や相談等の場所にもなっている。他施設と共用するという話であれば、話が漏れてしまう懸念もあるため、配慮が必要になると感じる。	意見を踏まえ、関係課と小学校規模について検討する。
21	◇子育て支援課 保育係 山本： 保育園の民営化は現在検討中であるが、保育園の敷地はどの程度想定していただけているのか。	子育て支援課と調整する。
22	◇建築施設課 予防保全係 板谷： 個性化教育に向けて、多目的室の面積が少ないという意見があったが、地域側の共有スペースも、小学校教育における多目的なスペースとして活用することも想定できると感じており、総合的に考えていく必要があると思う。 ◇事務局 中垣： 地域のスペースや軽運動に係る場所も、小学校側で活用できる諸室であると考えており、配置計画と併せて考えていきたい。 ◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭： 地域と学校の間にそういった共有スペースが配置されているということで、多目的に利用できると理解した。	—
23	◇ふくし課 社会高齢係 森： 資料 05 の配置方針について、駐車場の共有に関する記載があるが、消防団詰所における車庫は共有するのか、屋根を設けるのか等、どのような想定がされているのか。	先日実施した施設管理者ヒアリングの意見を踏まえ、基本計画内の施設計画において、詳細な配置検討を行う。
24	◇都市整備課 公園緑地係 小川： 資料 05 の「③子ども・支援のスペース」における面積検証について、乳幼児遊び場や、子どもの居場所は屋内の認識で良いか。 ◇都市整備課 公園緑地係 小川： 保育園には、園庭も必要である。幼児と児童の遊び方が異なるため、小学校のグラウンド等とは分ける必要が出てくると考えている。	意見を踏まえ、子育て支援課と調整の上、基本計画内の施設計画において、詳細な配置検討を行う。

No.	意見内容	対応
25	◇都市整備課 公園緑地係 小川： 第1回作業部会にて、不登校児の支援について、子ども支援のスペース内で、他児童もいる共有スペースと一緒にすることは良くないという意見もあった。場合によっては、不登校児への配慮も必要になると感じる。 また、P.3内、「不登校児」「不」が抜けているので、修正いただきたい。	配置計画検討や、その後の設計条件の整理において留意する。 検討資料を修正する。
26	◇教育課 児童館 向井： 児童館の機能として、児童館は地域の子どもが自由に寄れる居場所、児童クラブはお預かりするということで目的が分かれている。地域の居場所としての空間と児童クラブ室は分けているのか。また、アフタースクールは含まれているのか。 ◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭： 児童クラブやアフタースクールの活動は、軽運動やその他スペースでも実施可能であると思う。	意見を踏まえ、関係課と調整し、諸室計画を検討する。
27	◇教育課 個別化・個性化教育アドバイザー 鬼頭： 小学校体育館と北部ふれあいセンターの活動では用途は違うと考えている。小学校では球技等のスポーツが行われており、北部ふれあいセンターでは剣道等を行っていると考えている。	意見を踏まえ、関係課と調整し、諸室計画を検討する。
28	◇教育課 教育企画係 竹内： 北部ふれあいセンターは比較的築年数が浅いため、ある程度は複合施設と併存しながら、使える建物は使っていきたいと考えている。すべての施設を残すことは財政負担上難しいことを理解しており、どうしていくのかは検討が必要であると思う。 ◇教育課 教育企画係 竹内： 30%面積削減という目標を絶対条件とするのか、保育園民営化や、既存施設の継続使用をどうカウントしていくのか、落としどころを作業部会内でイメージしておいた方が良いと考える。現時点での建替施設と将来的な建替施設での状況が異なり30%削減の目標をそれぞれどのように設定すべきかと思い。 普通教室についても、児童数に応じてグラデーションで部屋の使い方を変えていけるような運用ができると理想的である。 ◇教育課 教育企画係 竹内： 設計段階において面積削減を図ることは難しいと考える。現在の学校を取り巻く環境に鑑みると、面積増の要因が複数ある。最終的には面積表の形で提示されると思われるが、後々に削減目標を回すことは難しいと考える。	現在は面積検討の段階であり、設計段階より前には目標を定める。現在の施設をそのまま建て替えて維持していくことは難しいため、まずは削減することを前提としつつ、複合拠点に必要な機能が何かを検討する。
29	◇教育課 教育企画係 竹内： 複合施設となった場合に、建築基準法等の観点から、直接道路からアクセスできるといった要件もあると思われるため、建築的な視点でも検討しておく必要がある。 ◇教育課 教育企画係 竹内： 避難の要件で問題が生じることも考えられる。大きい病院では、隣接した薬局が道路からアクセスできるように配置されていることがあった。本事業においても、分棟で建物を整備する際等に、支障が出ないかと気になった。	法令等の要件を整理した上で、配置計画を検討する。